

「IJSHS」 投稿規程

1. 審査分野

本誌はAging and Health Promotion, Biomechanics, Coaching and Training, Cultural Anthropology, Growth and Development, History, Management, Philosophy, Pedagogy, Physiology, Psychology, Sociology, Test and Measurementの審査分野をもつ。

2. 投稿者の責任

掲載された論文の内容に関しては投稿者のみが責任を負う。また、実験対象に人間及び動物が含まれる実験においては、人権が守られ、動物虐待とならないよう配慮がなされなければならない。掲載用に提出された論文等には、これら倫理的配慮に従った記述内容が明確に記載されているものとする。

3. 投稿資格

3.1. 投稿者の資格

本誌には本学会の会員と非会員を問わず論文を投稿することができる。

3.2. 投稿論文

論文は他誌に未発表のもので、かつ他の著作権を侵害しないものに限る。

ただし、「体育学研究」に掲載されたものについては、次の3.3.に示す要件を満たした場合、二次出版（secondary publication）として認める。

3.3. 二次出版の定義と付帯要件

3.3.1. 二次出版とは、「体育学研究」に掲載された和文論文を、「IJSHS」に英文論文として投稿し、掲載されること。

3.3.2. 投稿に際して、双方の編集委員会の許可を得ること。

3.3.3. 二次出版の対象論文はIJSHS初版以降（2003年3月以降）のものとする。

3.3.4. 「体育学研究」に当該論文が早期公開されてから1週間以上経過してからの投稿であること。

3.3.5. 初出版論文の目的や結果、考察が正確に反映されていること。

3.3.6. なお、二次出版論文のタイトルページの脚注において、当該論文の初出版論文が「体育学研究（巻、号）」にて報告されたものであることが分かるように表記する。

4. 投稿論文の種類と内容

4.1. 種類

投稿を受けつける論文

Review/Paper/Case Study/Brief Report/Letters to the Editor-in-Chief

4.2. 論文の長さ

Review 刷り上り 8ページ以内（図表8点まで）

Paper 刷り上り 6ページ以内 (図表6点まで)

Case Study 刷り上り4ページ以内 (図表4点まで)

Brief Report 刷り上り3ページ以内 (図表3点まで)

Letters to the Editor-in-Chief 刷り上り2ページ以内 (図表2点まで)

尚、指定した論文の長さは**title**、**abstract**、本文、**references**および図表を含む刷り上りの頁数とする。(図表を含まない刷り上り1頁にはおよそ730語の英単語が包含できる。)

4.3. Review

特定の題目について内外の研究を総括し、且つ著者独自の見解を含むもの。

4.4. Paper

新しい概念や知見を提供する研究で、妥当な論証を経て明確な結論を提示したもの。

4.5. Case Study

特定の少人数の事例を詳細に調査・研究したもの、または体育・スポーツの指導現場からの指導方法に関する実用的な情報を提供するもの。

4.6. Brief Report

研究として完結していないが、新しい事実や掲載価値のあるデータ、あるいは十分実用に供しうる科学技術上の新知見についてのべたもの。

4.7. Letters to the Editor-in-Chief

12ヶ月以内にIJSHSで発表された論文に対して、建設的な議論を推進する意見や、IJSHSに関連する研究上の情報提供など。

5. 使用言語及び単位

5.1. 言語

英語。

5.2. 単位

SI単位が望ましいがCGSでも可。

6. 論文提出方法

6.1. 投稿論文の提出

6.1.1. 英語を母語としない方は、投稿前にネイティブチェックを受けておくことが望ましい。

6.1.2. 「論文の投稿」画面にしたがって入力すること。

6.1.3. 投稿者は投稿時、論文審査を希望する分野(複数可)を選択すること。

6.1.4. 編集委員会は英語による投稿論文のほかに、日本語による説明文の提出を求めることができる。

6.1.5. 投稿の手引きは別に定める。

6.2. 問い合わせ先

International Journal of Sport and Health Science編集事務局

一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

E-mail: ijshs@taiiku-gakkai.or.jp

7. 論文の審査

7.1. 審査

論文はすべて編集委員会による審査を受けるものとする。また、審査はピア・レビュー (peer review) によって行われる。

7.2. 論文の受付と受理

オンライン受付日を論文の受付日とし、編集委員会による掲載決定後、オンライン採択日を受理日とする。受理された論文は、編集委員会による校閲・校正（プルーフ）を受けるものとする。

8. 掲載料

掲載料金は無料。

9. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権の一切（著作権法第27条及び第28条の権利を含む）は、本学会に帰属又は譲渡されるものとする。ただし、論文の内容に関する責任は当該論文の著者が負う。

10. 改廃

この規程は、社員総会の決議により改正することができる。

[平成14年11月16日]

[平成15年8月11日一部改正]

[平成15年11月6日一部改正]

[平成17年10月23日一部改正]

[平成19年6月9日一部改正]

[平成20年9月10日一部改正]

[平成21年8月26日一部改正]

[平成22年6月12日一部改正]

[平成23年6月11日一部改正]

[平成23年9月25日一部改正]

[平成24年6月9日一部改正]

[2017年6月10日一部改正]

[2021年4月1日一部改正]

「IJSHS」投稿の手引き

1. 投稿

1.1. 「IJSHS」では投稿および審査をすべてオンライン上で行うため、投稿は下記ウェブサイトアクセスし、「投稿画面」に従い投稿すること。

<https://www.editorialmanager.com/ijshs/>

1.2. 投稿には、別に定める「IJSHS」投稿規程を参照すること。

1.3. 本委員会より修正を求められた論文は 60 日以内に再提出することとし、60 日を超えて再提出された場合には新たに投稿された論文として受付ける。

1.4. 「早期公開」した論文に関して、「本公開」までに見つかった誤りは、編集委員長の承認の下に訂正し、訂正版を本公開できることとする。

1.4.1. 論文の「本公開」の後に見つかった誤りは、編集委員長の承認による「訂正記事」によって訂正することとする。

2. 使用ソフト

2.1. 投稿論文、図表のアップロードに際して、投稿画面の自動 Build PDF 機能で使用できるソフトは Word、WordPerfect、RTF、TXT、LaTeX2e、AMSTeX、TIFF、GIF、JPEG、EPS、Postscript、PICT、PDF、Excel、PowerPoint とする。ファイルサイズの制限はない。

2.2. 動画をアップロードする際、使用ソフトの指定、ファイルサイズの制限はない。

ただし投稿画面の自動 Build PDF 機能で「Video」を必ず選択しアップロードすること。

また公平な審査を期すため、動画のファイル名、ファイルのプロパティなどに著者名が特定できるような個人情報の記載がないよう注意すること。

3. 連絡責任者

編集委員会との連絡を行う責任者を 1 人執筆者の中から指定すること。

4. 投稿原稿の構成

4.1. 原稿は標題・ランニングタイトル・アブストラクト・キーワード・本文・参考文献・図表・個々の図版の説明文で構成すること。

4.2. 公平な審査を期すため、原稿には著者名、所属先、連絡先などを記載しないこと。

4.3. 謝辞・付記などは原稿「受理」後に書き加えることとし、投稿時の原稿には記載しないこと。

4.4. 投稿受付後の共著者の追加・削除は認めません。

5. 投稿原稿の内容

5.1. 標題

- 5.1.1. 内容を的確に説明する簡潔な標題とすること。“の観察”、“特定の（ある）”、“研究”等の語は、編集者により削除される場合がある。
- 5.1.2. 副題をつける場合は、コロン（:）で続けること。
- 5.1.3. 標題・ランニングタイトルでは、前置詞・冠詞・接続詞をのぞく語はすべて大文字で始めること。
- 5.1.4. ランニングタイトルはスペースを含めて 50～60 字以内とすること。

5.2. アブストラクトとキーワード

- 5.2.1. アブストラクトは、400 語程度の概要を簡潔に且つ事実に基づき記述すること。
- 5.2.2. キーワードは、論文の内容や特色を的確に示し、検索に役立ち得るものとする。3 語以上 5 語以内。

5.3. 本文

- 5.3.1. 余白は上下左右各 25mm以上とし、フォントは 12 ポイントとすること。
- 5.3.2. 本文には、ページ数、各ページ毎の行番号を明記すること。
- 5.3.3. 論文は宣伝的性格のものであってはならない。商標名ではなく一般名を使用すること。
- 5.3.4. 一般的によく知られていない特定の製品・製造法・装置等については、できるだけ詳細な説明、機種番号・製造者・住所を脚注に記載すること。
- 5.3.5. 原則として節・項・ヘディング・サブヘディングは以下の分類による。
 - Section: 1. 2. 3.
 - Subsection: 1.1., 1.2., 1.3.
 - Heading: 1.1.1., 1.1.2., 1.1.3.
 - Subheading: (1),(2), (3)
- 5.3.6. 一般的でない技術用語は省略形を使わないこと。
- 5.3.7. 元素・合金・化合物名の表記用に化学物質名・化学式の使用は許される。
- 5.3.8. 分数表記は原則として次のような表記にする。
但し、簡略法として次のような 1 行に収まる方式を使用してもよい。

$$\frac{a}{b} \frac{(a+b)}{(c+d)} \Rightarrow a/b \quad (a+b)/(c+d)$$

- 5.3.9. 数学記号・下付・上付等はすべてはっきりした表記にすること。
- 5.3.10. 年号には西暦を使うこと。

5.4. 引用

5.4.1. 論文中で文献を引用する場合には、基本的な文献を厳選し、正確に引用する。本文中の文献は原則として著者名と発行年で示すこと。

5.4.2. 本文中で文献の一部を引用するときは、引用した語句または文章を“ ”でくくると。

5.4.3. 著者が2名の場合、“and”を用いてつなぎ、著者が3名以上の場合“et al.”を用いること。

“…” (Park and Harris, 1998)

“…” (Harris et al., 1998)

5.4.4. 本文中で参照した文献を明記する場合には、次のような形で著者名と発行年を記入すること。同一著者の文献が複数ある場合には、括弧内の発行年をコンマ(,)でつなぐこと。同一著者の同一年に発行された複数の論文は発行年の後に a, b, c,…をつけて区別すること。

According to Harris (1996), …

According to Park and Harris (1996, 1998), …

According to Harris (1995, 1997a, 1997b), …

5.5. 参考文献 (References)

本文中に引用した文献に限る。

5.5.1. 文献の書誌データの表記は、著者名、発行年、論文タイトル、雑誌名、巻数、開始ページと終了ページの順とする。著者名の前には連番をつけず、掲載順はアルファベット順とする。

著者名は、姓 (family name), 名 (first name, middle name) の頭文字の順で表記し、発行年を著者名のすぐ後の () 内に記入する (author-date 法)。誌名を表記する際の書体は立体とし、その雑誌に指定された略記法、または広く慣用的に用いられている略記法に従う。号数は記載しない。

5.5.2. インターネットによるアクセス先を記載する場合は、アクセスした日付を必ず明記すること。

5.5.3. 文献の書誌データの区切り記号は、以下の例にならい正しく表記する。

Andre, T. (1986). Problem solving and education. In G. D. Phye & T. Andre (eds.), *Cognitive classroom learning: Understanding, thinking, and problem solving* (pp. 169-204). New York: Academic Press.

Endo, T., Tauchi, K., and Ogata, M. (2008). Development of running and footwork abilities from a viewpoint of jumping ability characteristics. *Int. J. Sport Health Sci.*, 6: 120-127.

MEXT (2009). The New Course of Study in higher school.

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/1282000.htm.

(accessed 2008-08-25).

- 5.5.4. 英語以外の言語による文献の場合には、タイトルを英訳し、[]で囲って示す。
可能な場合には、原語またはローマ字表記したタイトルを英訳タイトルの前に書く。
最後に原文の言語を（ ）内に書く。

Nakamura, T. (2010). Gakusei yakyu kensho towa nanika: Jichi kara miru nihon yakyushi [What is the Japan Student Baseball Charter? : Japan baseball history in the light of autonomy]. Tokyo: Seikyusha. (in Japanese)

- 5.5.5. 翻訳書の参考文献は、以下の例を参照し翻訳の詳細も明記すること。
また、本文中で引用する際は、(Armstrong, 2010/2012) と記載すること。

Armstrong, A. (2012). スポーツと体育科教育 (G.Onigawara Trans.). Tokyo:Gakumon Press. (Original work "Sports and physical education" published 2010)

- 5.5.6. 正式に発刊される前の早期公開記事や電子形式による刊行物を参考文献とする場合は、以下の例を参照し DOI (Digital Object Identifier デジタルオブジェクト識別子) を明記する。

Endo, T., Tauchi, K., and Ogata, M. (2008). Development of running and footwork abilities from a viewpoint of jumping ability characteristics. Int. J. Sport Health Sci., doi: 10.1111/j.1475-6781.2008.00116.x.

5.6. 注記

- 5.6.1. 注は本文あるいは図表で説明するのが適切ではなく、しかも補足的に説明することが明らかに必要なときのみ用いること。またその数は最小限にとどめること。
5.6.2. 注をつける場合は、本文のその箇所に*1, *2のように通し番号をつけ、文献表の前に Note として番号順に一括して記載すること。

5.7. 図表および写真

- 5.7.1. 写真は図に分類されるものとする。

- 5.7.2. 図・表ごとに連番をつけること。(例 Figure1, Figure2, Table1, Table2)
 - 5.7.3. キャプションは、最初の語のみ大文字を使用すること。
 - 5.7.4. 各図表には、本文を参照しなくても理解できる情報を得られるだけの簡潔な見出しをつけること。
6. 修正再投稿
- 6.1. 再審査時には、全審査員の審査結果および投稿者からの回答が各審査員に公開されるため修正箇所は赤字で示す。

[平成 14 年 11 月 16 日]

[平成 15 年 8 月 11 日 一部改正]

[平成 21 年 12 月 14 日 一部改正]

[平成 22 年 6 月 28 日 一部改正]

[平成 23 年 5 月 1 日 一部改正]

[平成 24 年 5 月 12 日 一部改正]

[平成 26 年 4 月 30 日 一部改正]

[平成 27 年 3 月 17 日 一部改正]

[2017 年 6 月 10 日 一部改正]

[2018 年 6 月 25 日 一部改正]

[2019 年 7 月 24 日 一部改正]

[2020 年 3 月 16 日 一部改正]

IJSHS 論文審査手順

1. 投稿原稿受付 (J-stage)。
2. 希望された審査領域の編集委員によって、担当編集委員 (1 名) の決定を行う。
3. 担当編集委員による審査依頼 (審査員 2 名、原則として 4 週間を新規投稿論文の審査期間とする)。
4. 審査結果受領。
＜判定内容＞ (2009.4.1 より「体育学研究」に準じ変更)
 - A 掲載可
 - B 修正再審査
 - C 掲載不可
 - D 審査困難
5. 2 名の審査結果をもとに、担当編集委員は掲載可、あるいは掲載不可の判定所見を作成する。修正・再審査の場合は、2 回の修正・再審査の後、担当編集委員自身が審査結果を取りまとめることができる。また、編集委員会が当該論文の掲載に重大な問題があると判断した場合には、審査員に照会した上で、編集委員会としての判断を下す場合がある。
6. 編集委員長は、編集委員会による審議結果「掲載可」「掲載不可」を速やかに投稿者及び審査員に通知する。